

## 主催者挨拶

よろしくおねがいます。

R.M.O-サービス 代表 山川 克則

水篋刈大会実行団団長 三浦 千鶴

第9回クラブカップ7人リレー大会に多数の申込をいただきありがとうございます。どの大会も例外無く参加者を減少させている昨今、クラブカップリレーも昨年は、参加者減少という事態になりました。少しでもこの減退状況を食い止めるべく、オリエンテーリングから離れていった仲間を呼び戻すべく、クラブカップは、「戻ってくる場所がここにある」というキャッチコピーを掲げて準備してきました。そうしたなか、今年3月私の体に急変が起こり、一ヶ月以上入院生活をおくりました。他の大会も多数かかえていることから、当初予定していた駒ヶ根高原での大会準備を間に合わせる事が不可能になりました。そんな状況下でも、クラブカップを継続して開催する方策として、前日大会として企画されていた、水篋刈大会を2日間大会として再設計して企画することになりました。例年、クラブカップリレーは夏の祭典ということで、中央道周辺でおこなうことが多く、水篋刈の皆さんにはいつも協力頂いていたのですが、本年は共に大会をつくりあげていくかけがえの無い仲間として準備してきました。フタをあけてみれば、昨年約200名の参加者増！さまざまなお条件が重なったのもあるかと思いますが、この時代に奇跡がおこったようです。皆さんのクラブカップにかける思い、オリエンテーリングが好きだ、続けていこうという思いに対し、責任感をひしひしと感じます。

毎年申し上げていることですが、この大会をメジャーに育て上げたのは、参加者の皆さんの大会にかける思い、価値観に相違ありません。私はそのための環境をその時々状況に合わせて全力で用意させていただく、というスタンスです。本年も、1993年当時のインカレ地図を新地図基準ISOM2000に則って、正確に現地の状態を表記するようできるだけ努力いたしました。また、真のクラブチャンピオンを決めるにふさわしいコース、ライブクラブとの激しいつばぜり合いにふさわしいコースとなるよう、何度も練り直しました。会場レイアウトも、いかに熱く応援できるか熟考をいたしました。あとは、この舞台の上で主役である参加者の皆さんがそれぞれの役割を演じていただくのを待つばかりです。

この大会は毎年のことながら、小人数で運営しているため、上記のような競技環境以外は通常のクラブ大会や県協会大会より運営上のサービスという点においては至らないことも多々あるかと思えます。E-card導入でかなりのことが改善されてきましたが、新たな改善項目も発生しています。みんなが楽しめ、みんなで負担できることはそれぞれが負担するというスタンスをご理解いただき、このプログラムをご熟読し、準備して下さい。そして、この大会を目いっぱい楽しんでいただければと思います。私達運営者も、膨大な準備作業を「楽しんで」準備しています。伊那谷の快適な高原で皆さんをお待ちしております。

みなさんこんにちは。水篋刈大会&クラブカップへの参加、ありがとうございます。今年の夏の締めくくり、大いに楽しみましょう！

水篋刈（読める人はほとんどいませんでしたが）って何？よく聞かれます。信大OLCのOBOGです、というのが簡潔な答えですが、いわゆるOB会のようなちゃんとした組織運営をしているわけではなく、オリエンテーリングを通してできた仲間がまた集まるときや、大会エントリーの所属名に使っていた「呼び名」です。（言葉の意味としては信濃の国の枕詞です。）クラブカップは長野県周辺で行われることが多く、長野県協会絡みで行われることも多く、その手伝いをするのは私たちにとって普通のことでした。クラブカップのコンセプトと合致し、「運営もする、参加もする」ことでこのイベントを楽しんできました。そのクラブカップが駒ヶ根に帰ってくる！前日イベント？ますみヶ丘？「水篋刈でやったら？」長野県大会を？いや、主催！！というわけで水篋刈大会実行団が結成されました。卒業して長野県を離れた人も多し、オリエンテーリングからはちょっと遠ざかっている人もいます。でも、大会運営によって、またみんなが集まる機会を作ることができました。参加者のみなさんと同様に、運営者もここに「戻って」来ます。私たちの目標は「普通の大会を普通にやる」ことですが、たぶん「水篋刈」らしさも感じていただけたと思います。

そして、「クラブカップを含めた2日間全部の企画&運営」ということになりました。最初は多少動揺しましたが、自分たちにとっても特別だったこの大きな大会を運営できるという機会が与えられたことは、とても幸せなことだと思っています。いままでは知らなかったこと、こういう機会がなければ話すこともなかった人との出会い、クラブのみなさんのこの大会に寄せる思いなど、いつのまにか受け止めていたさまざまなことを力に変えて、当日の朝までの準備をやっていきます。そして、あとはみなさんと一緒に参加者としても楽しみたいと思います。

最後に、そこに走れる森があることと、早くその場所を貸して下さった伊那のみなさんに感謝します。どうもありがとうございます。

## トレインプロフィール

1993年に第一回ショートインカレが開催されたトレインです

本大会に使用するトレインは南アルプスの東麓に位置します。東を見下ろせば天竜川にそって広がる伊那谷が、西を見上げれば南アルプスの山嶺が望める、とても気持ちのよい高原です。競技に使用するエリアにもこの立地の特徴が明確に現れています。西側には急峻な片斜面が、会場となる公園から東側には非常に緩やかな平地林が広がります。全体を通じて、通行可能度は非常に良好です。また小道も発達しているためスピードは簡単に上げられます。しかし、見通しはそれほど良くないため、うまくスピード調節をしないと痛い目にあう、そんなトレインです。

## 大会の特徴・注意

2日間共通の注意事項です。

### 青空会場です

大きな風車付きの鳩時計がシンボルの公園が会場です。芝生広場を中心に、池、花壇、遊具、水遊びのできる小川などがあります。木陰は少ないので、各自、日よけ&雨対策を行って下さい。レイアウト図に示す範囲でのテント、タープ等の設営は可能です。遊具等の占有はしないでください。女子更衣所テントは用意します。

### 公式掲示板

プログラム内容からの変更事項、競技に関する重要情報は当日公式掲示板に掲示します。参加者は必ず確認してください。

### 禁止事項

全面禁煙。  
公園内や会場周辺での野宿。(車泊含む)  
水道での靴洗。公園内の小川で洗ってください。

### ゴミは持ち帰り

来た時よりも美しく。ご協力おねがいします。

### トイレ

会場公園内にトイレは2ヶ所ありますが、数は非常に少ないです。会場到着前や宿で済ませてくるようにしてください。

### 会場での地図参照について

2日間同じ地図を使用します。水簫刈大会で使用した地図は、C C 7 競技中を含め常時参照してもよいものとします。地図販売はC C 7 の2次リスタート後に行います。

### 販売物

地図(白図/2日間全ポスト図/コース図)  
成績表(2イベント共通 ¥800/郵送料込み)  
「地図調査を上達したい人のためのお守りシリーズその1」  
(限定20個 ¥300)

### 「欠席者の地図」はありません

競技に使用した地図はゴールで回収し、その日のスタートがすべて終了した時点で返却します。競技で使用しなかった地図の配布はありません。ご了承ください。

### 別のイベントやっています

水簫刈大会と同日に、「伊那市市民音楽祭 2001 ロックフェスティバル」というイベントが鳩吹公園で行われています。オリエンテーリング大会参加者以外の来場者が大勢います。ご配慮ください。また、ロックフェスティバルが雨で順延された場合、クラブカップの会場レイアウトや駐車場の使用割当がプログラム記載事項から大幅に変更になります。会場でのインフォメーションにご注意ください。

### 個人の責任で参加してください

参加者が本人または第三者に与えた損害・損失について主催者・管理者は責任を負いません。

### 大きな怪我をした時

大きな怪我をした場合、伊那市街の病院まで車で輸送することになります。スポーツ傷害保険に加入していますので、大会中に事故、怪我がありましたら大会本部にご連絡下さい。また保険証を持参して下さい。

### 荒天による中止について

この時期は台風などによる荒天が予想されます。荒天時、競技は中止します。大会当日、中止かどうかは主催者までお問い合わせください。(三浦携帯:090-3522-1399/山川携帯:090-4711-0306)中止した競技の順延はありません。また競技が中止になった場合でも参加費の返却は行いません。

### 託児所について

水簫刈大会では託児所を設けます。利用希望の方は、事前に問い合わせ先までご連絡ください。C C 7 のときは、各チームで走順を調整してお子様の面倒をみていただくようお願い致します。

### 「非公式」掲示板

「非公式掲示板」のスペースを設けます。クラブや大会の宣伝に活用してください。ビニールテープ等を使用して掲示し、帰る際、剥がして行ってください。大会等の要項置き場も設けます。マイク貸し出しも行います。当日、係に申し出てください。

### コンパス貸し出します

## 競技に関する情報

2日間の共通項目のみ。

### 地図に関すること

縮尺 1:10,000 等高線間隔 5m 通行可能度 4段階表示  
I S O M 2 0 0 0 準拠 2 0 0 1 年 8 月作成  
コース・位置説明印刷済み。ビニール袋密封。位置説明は IOF 記号のみ。一部クラスでは日本語説明。

### E-card

記印手段として E-card(電子パンチカード)を使用します。使い方がわからないときは、係にお尋ねください。なお、ラップ表のサービスはありません。

### 競技中の誘導

競技中の誘導(スタート地区からスタートフラッグまで、ラストコントロールからゴールまで、中間のビジュアル)は全て赤白ストリーマです。立ち入り禁止エリアは青黄ストリーマで示します。

コース設定者 黒田 幹朗  
コントローラ 山川 克則

### 失格判定の自己確認について

e-card による計時が一般的に使用されるようになってきましたが、失格判定の告示が従来通りの方法だと、運営業務上極めて煩雑な中断を強いられることが問題となってきました。そこで今からは、下記のように周知徹底したいと思います。おそらく今後の標準運営形態となるものと思われる。

ゴールでのカード読み取りで「失格」とコンピュータに判定された場合、失格専用のハンディプリンタで履歴をプリントアウトしておきます。また、コース別のバックアップラベルの正解針パターンもプリントアウトしておきます。競技者の方は、通常運営業務中に失格内容の確認を要求することは厳に止めていただきたく思います。2日間とも地図返却が成された後(リレーではリスタート後)、自分が走った地図を(リレーではバックアップラベルも)お持ちになって、記録紙の履歴やバックアップラベルの正解パターンとの照合を各自で行って下さい。それでも尚、納得いかない場合のみ本部に申告して下さい。

クラブカップリレーにおいて通常業務時間帯に、運営の支障を来すような行為がはなはだしい場合、クラブ全体を失格とすることがありますので、周知徹底をお願いします。

## 競技形式

ポイントオリエンテーリング

## 競技クラス

各クラスとも3位まで表彰します。

クラス	コース距離/登距離	クラス	コース距離/登距離	クラス	コース距離/登距離
M21A	6900m/240m	M50A	4900m/180m	JA	3200m/100m
W21A	5000m/190m	W50A	3300m/120m	【当日受付】	
M21AS	4900m/180m	M60A	3300m/120m	OA	4900m/180m
W21AS	3300m/120m	W60A	3300m/120m	OB	3200m/100m
M40A	5000m/190m	MB	3200m/100m	N(市民)	
W40A	4900m/180m	WB	3200m/100m		

### 受付 9:30~

- ◆ 事前申し込みの方はE-cardとディスクリプション(位置説明)を配布します。
- ◆ 代走は認めず。代走受付用紙に必要事項を記入し、事前申込者のE-cardとともに受付にお持ちください。
- ◆ 大会競技に関する変更事項、重要情報は当日公式掲示板に掲示します。参加者は必ず確認してください。

### 当日受付(9:30~11:30)

- ◆ 本部横で行います。所定の用紙に必要事項を記入し、受付にお持ちください。  
(一般¥2000 高校生以下¥500 Nクラス¥200/地図)
- ◆ ここでスタート時刻の指定をします。E-cardと受付用紙をスタート地区へお持ちください。
- ◆ Nクラスのみ、会場からのスタートになります。
- ◆ 用意した地図がなくなり次第受付を終了します。ご了承ください。

### 初心者説明

- ◆ 本部横にて行います。E-cardユニットのサンプルも設置します。

### スタート 10:30~13:00

#### スタート地区

- ◆ 会場からスタート地区までは緑白テープ誘導約1.5km30分です。
- ◆ スタート3分前になったら、スタート枠へ入ってください。1分ごとに前に進み、1分前になったら係からチェックを受け、E-cardの動作確認を行い、地図の裏に記名してください。
- ◆ 遅刻者は遅刻した旨を役員に伝え、指示にしたがってください。
- ◆ スタート閉鎖時刻は13:00です。それ以後のスタートは認めません。

#### スタート

- ◆ スタートユニットにE-cardをはめ、合図と同時に離してスタートしてください。
- ◆ スタートフラッグまでは赤白ストリーマ誘導です。

#### フィニッシュ

- ◆ ラストコントロールからゴールまでは赤白ストリーマ誘導です。
- ◆ ゴールユニットにE-cardをはめてください。(パンチングフィニッシュ)
- ◆ 完走しなくても必ずゴールを通過するか、何らかの方法でE-cardをゴールに提出してください。

#### 地図返却

- ◆ スタート終了後本部付近にて地図返却を行います。

### 表彰 14:30頃

- ◆ 各クラス3位まで表彰します。上位の成績が確定次第随時行います。
- ◆ 表彰対象者は呼び出しますので、係のところへ来ててください。

### クラブカップ開会式 15:00

- ◆ 翌日のクラブカップの開会式を行います。優勝カップの返還、レプリカの贈呈、テクニカルミーティング、ゼッケンなどの配布を行います。

### ゴール閉鎖、競技終了 15:30

- ◆ 競技時間は2時間30分です。それを超えたらゴールへ戻ってきてください。
- ◆ 最終スタート後2時間30分でゴールを閉鎖します。
- ◆ 一度スタートした者は必ずゴールするか、何らかの方法でE-cardをゴールに提出してください。

## スケジュール

7:30-	受付
8:00-	競技説明
8:20	メンバー表提出締切
8:30	クラブカップスタート
8:40	ベテランカップスタート
13:10	第一次リスタート
13:30	クラブカップ優勝想定時刻
14:30	第二次リスタート
15:30	表彰式
16:10	競技終了

## 競技形式

7人(4人)によるリレーオリエンテーリング

## ゼッケン

主催者で用意します。8日の開会式にて配布します。受け取ったら中身(ゼッケン2×人数分、ゼッケンナンバー、メンバー表、E-cardの注意書き)を確認してください。ゼッケンは出走時は必ず体の前後に付けてください。

## E-card

チームでカードを使い回します。クラブカップは、〈1、4走〉×2、〈5走〉×3、〈6走〉×7走〉、ベテランカップは〈1、4走〉×2走〉×3走〉が同じカードを使い回し、チームでクラブカップは4枚、ベテランカップは3枚のカードを使い回します。バックアップラベルの準備は各自で行っていただきます。注意書きを熟読し、カードに貼られた識別IDシールをよく見て間違いの無いようにご準備下さい。リスタートにかかってカードが用意できない場合は再交付します。ゴールでのカード回収はしません。競技終了後は、洗ってからE-card返却所へお返しください。(失格と言われた場合の手順は**失格判定の自己確認について**の項目を熟読しその手続きを行ってください。)

## 安全ピン

ゼッケン用の安全ピンはバラのまま箱に入れておきますので、各自必要分をとって使ってください。使用後は8本1組にして返却していただくと助かります。

### 受付 7:30~8:20

- ◆ 前日の開会式で配布物を受け取っていないチームはセルフサービスで受け取ってください。受け取ったら中身(ゼッケン2×7人分、ゼッケン番号、メンバー表、注意書き)を確認してください。また、E-cardは全てのチームにつき、ここでの配布となります。
- ◆ 大会競技に関する変更事項、重要情報は当日公式掲示板に掲示します。参加者は必ず確認してください。とくに、前日に予定されているロックフェスティバルが雨で順延された場合、レイアウトが大幅に変更となります。掲示板、会場でのインフォメーションにご注意ください。

### メンバー表の提出(各クラススタート10分前)

- ◆ エントリー時より変更のないチームも含めて、全てのチームがもう一度正しいメンバー表を提出してください。
- ◆ 用紙に必要事項を正しく記入し、本部横にあるボードの所定の位置に各チームで貼ってください。

### メンバー変更

- ◆ メンバー表提出後は、前走者がビジュアル区間を通過した1分後まで、次走者の変更が可能です。
- ◆ ボード上の旧メンバー表の上に新たに正しいメンバー表を貼り付けてください。同時にメンバー変更した旨を次走者待機枠の係員に口頭で申告してください。申告忘れや不実の申告をした場合、成績はオープン参加扱いとなります。

### 競技説明 8:00

- ◆ チェンジオーバー等の説明を行います。

### スタート 8:30/8:40

- ◆ スタート10分前に各チームの第1走者はE-cardの動作確認を済ませ、スタート地点に集合し、ゼッケン番号順に整列してください。
- ◆ 地図を受け取り、裏面のゼッケン番号を確認してください。
- ◆ E-cardが無い人、ゼッケンを体の前後に付けていない人はスタート出来ません。
- ◆ 遅刻スタートはできません。
- ◆ クラブカップのスタートは8:30、ベテランカップのスタートは8:40です。
- ◆ スタートの合図とともに地図を見てください。
- ◆ スタートフラッグは会場より赤白ストリーマ誘導約500mです。スタートフラッグが地図上のスタートマーク

(△)の中心です。一度スタートした者は必ずゴールを通過するか、何等かの方法でE-cardをゴールに提出して下さい。提出されない場合、未帰還者として搜索されます。

### **ビジュアル区間**

- ◆ 各走区ともコースの途中で一度会場内を通るビジュアル区間があります。ビジュアル区間は赤白ストリーマによる誘導に従ってください。ビジュアル区間通過 1 分後まで、次走者の変更を認めます。メンバー変更の方法を参照してください。

### **給水**

- ◆ CC7では給水所は設けません。ビジュアル区間通過時にチームで給水を行ってください。

### **チェンジオーバー**

- ◆ E-card が無い人、ゼッケン 2 枚を体の前後に付けていない人は出走できません。
- ◆ チェンジオーバーは次走者の体の一部にタッチすることで成立します。
- ◆ コールは行いません。前走者はラストコントロールからの誘導で会場内を通るので、次走者はそこで確認し、次走者待機枠に入ってください。待機枠に入る前に E-card の動作確認を行ってください。
- ◆ 地図はチェンジオーバー後に、透明ビニール袋から自分のゼッケンナンバーの地図だけを取ります。袋ごとすべて持って行ってはいけません。この場所はステージ前方の囲った部分で、観戦者から容易に見てとれることができます。各チームで十分メンバーに注意してください。また、地図取り違いのまま出走したところがありましたら、直ちに気づいた方は係までお知らせ下さい。
- ◆ 地図の取り違いは他のチームに迷惑がかかります。チーム責任で意識づけを徹底してください。地図を取り間違えたチームは失格とします。

### **リスタート 13:10/14:30**

- ◆ 13:10 までにチェンジオーバーできなかった 2・3・4・5 走者は、リスタートを行います。
- ◆ 14:30 までにチェンジオーバーできなかった 6・7 走者はリスタートを行います。
- ◆ リスタートの時刻は当日の状況によって変更されます。会場でのインフォメーションにご注意ください。
- ◆ リスタートしても、すべてのランナーがコース閉鎖時間までに完走すれば、チームとしては完走扱いになります。チームの所要時間はすべての走区の合計時間となり、順位はこれに基づいて算出されます。

### **E-card が間に合わなかったら**

- ◆ リスタートまでに使いまわし E-card の前走者が帰ってこない場合、E-card の再発行をします。ゼッケンをつけて、ゴールテントまで来て下さい。

### **表彰式 15:00**

- ◆ 表彰式は 15:00 からの予定です。
- ◆ クラブカップ 上位 6 チーム、ベテランカップ 上位 3 チームを表彰します。
- ◆ 表彰対象の方は 15:00 に表彰台付近に集まってください。

### **ゴール閉鎖 16:10**

- ◆ ゴール閉鎖時刻は 16:00 です。競技の途中でも、競技を中止して必ずこの時間までゴールに戻ってきてください。やむを得ず戻れない場合も、何らかの方法で E-card をゴールに提出してください。
- ◆ ゴール閉鎖までに戻ってこないランナーがいた場合は、チームの責任において本部まで届けるようにしてください。本大会では帰還者の確認はチームの責任とします。

### **チーム No.について**

チーム No.	説明
000	クラブカップ招待チーム(水篤刈)
001-079	クラブカップ正規チーム(前回完走チーム)
101-	クラブカップ正規チーム(上記以外)
201-	クラブカップオープンチーム
501-	ベテランカップ正規チーム(前回完走チーム)
551-	ベテランカップ正規チーム(上記以外)
601-	ベテランカップオープンチーム

### **ゼッケン No.とその意味**

上位 3 桁がチーム番号、下位 1 桁が走順

1234

## 参加資格について

### ◎クラス

クラブカップ:7人1チームのポイントOLによるミックスリレー  
ベテランカップ:4人1チームのポイントOLによるリレー

### ◎チーム構成

次の基準を満たすチームを「正規チーム」とし表彰の対象とする。それ以外はオープン参加となる。(事前エントリーの段階でオープン申告していたチームが当日のメンバー変更によって正規条件を満たしたとしても「正規チーム」の対象とはしない)

## 《クラブカップクラス》

1. 男女ミックスチームであること。すなわち、チームに必ず女子1名以上含むこと。(後述のように経過措置をとる)
2. 7人とも同一クラブ員であること。  
(大学クラブ等で活動を共にしているクラブを含む)
3. 申込期限、様式が守られていること。
4. チーム構成員全員がその日初めてのレースであること。
5. 7人の中に下記の【制限選手】A、B、Cの3人を含むこと。  
1人の制限選手が2条件以上を兼ねることは出来ません。
6. 第5走か第6走のどちらかは、必ず【制限選手A】もしくは【制限選手B】でなければならない。

(年齢は2002年3月31日現在の満年齢)

【制限選手A】次のア～エのいずれかの条件を満たす者。

- ア.50歳以上男性 イ.15歳以下男性  
ウ.30歳以上女性 エ.20歳以下女性

【制限選手B】次のア～ウのいずれかの条件を満たす者。

- ア.40歳以上男性 イ.18歳以下男性 ウ.女性

【制限選手C】次のア～ウのいずれかの条件を満たす者。

- ア.35歳以上男性 イ.20歳以下男性 ウ.女性

但し、次のような特別ルールを設ける。(※二.については、今回限りの経過措置です。今回の状況のみを来年のルールは再設定します。男女ミックスリレーの基本コンセプトをご理解の上参加いただきたいと思います。)

一. 女性3名以上の場合、女性の年齢制限がなくなる。

【制限選手B】【制限選手C】共に(ウ.女性)の条件で出場する場合は、【制限選手A】において、(オ.女性)の条件を満たせば良いこととします。つまり、制限選手3名が全員女性であればその年齢は不問とします。

二. チームに女性を含まない場合、つまり男性のみのチームの場合【制限選手C】を使用することができません。【制限選手A】【制限選手B】【制限選手B】の構成となります。

※当日メンバー表の「条件」欄に、制限選手3名について、「A-エ」とか「C-ア」とか合致する条件を書いていただくこととなります。本大会の選手登録方法は「自己申告」が大前提となります。

### ベテランカップクラス

1. 4人とも同一クラブ員であること。
  2. 申込期限、様式が守られていること。
  3. チーム構成員全員がその日初めてのレースであること。
  4. 構成員が、50歳以上の男性、もしくは40歳以上の女性であること。
- (年齢は2002年3月31日現在の満年齢)

## コースの概要について

すべての走順で急斜面区域を前半、平地林区域を後半に使用

します。

1・2走(4300m up155m 30分)

ウィニング 30分。このトレインのイメージどおりのオーソドックスなコースです。平坦な部分ではファインな直進を要求しますが、これがまばらに存在するヤブのおかげで先の見通しがなく一筋縄ではいかないものになっています。

3走(5500m up200m 35分)

ウィニング 35分。クロスカンтриーコースです。なんとといっても走力重視のコースですが、勝負どころでは3走のお約束とも言えるロングレグがあり、ダイナミックなルートプランが要求されるでしょう。

4・5走(4300m up130m 30分)

ウィニング 30分。1・2走と同じくオーソドックスなコースですが、使い方を全く変えるのもクラブカップリレーの特徴です。直進主体のコースとなることは同じですが、地形を意識する場面が多少多くなります。登りはやや1・2走より少なくなっております。A・B制限選手の走順指定が5・6走にあります、各クラブで選手起用の妙味を發揮していただく部分です。

6走(5200m up190m 35分)

ウィニング 35分。テクニカルコースです。中心となるのはやはり直進。そして情報の取捨選択。平地林での難度が、1・2走や4・5走とは格段に難しくなります。後半にリレー全体の勝負を決めるレグがあり、そこでは大きくルートチョイスが分かれることでしょう。

7走(6850m up315m 45分)

ウィニング 45分。エリートコースです。急斜面部分でのタフな登りと細かい地図読みを要求するレグがあるのも例年通りです。後半の平地林では、6走とバリエーションを組んでおり、平地林を余すことなく使用します。競っているチームにとって、最後の勝負レグはまさに正念場。果敢なルートプランで攻めのオリエンテーリングが必要となる、クラブカップリレーのクライマックスです。

ベテランクラブカップのコースは、クラブカップの1・2走や4・5走を組み合わせ使います。

## 来年の予告

第10回クラブカップ7人リレー

2002年 愛知県三河高原にて開催

## E-card 使用の留意事項

- ◆ 同じ番号のコントロールを続けて2回以上パンチした場合は、最初のパンチのみが記録されます。パンチに不安がある場合は2回以上パンチしても問題はありません。
- ◆ 途中で間違ったコントロールのパンチが記録されていても正しい順番で回ったことが確認できれば完走と認めます。したがって間違ったコントロールでパンチした場合でもそのまま正しいコントロールに行き行ってパンチしてください。
- ◆ 3 - 4 - 5と行くところを4を飛ばして5をパンチした場合。そのまま4に戻ってもう一度5をパンチする。
- ◆ 4の次に別のコントロールをパンチした場合。そのまま5をパンチする。
- ◆ バックアップラベルを紛失しても失格とはなりません。E-cardが適切に働いてなかったときに通過を確認できない場合は失格となります。

#### Kids - O

家族でご参加の方はお子様用に、会場周辺の縮尺 1:2,000 特製地図による Kids - O コースを用意します。昨年のコースとは一転、すべて本部テントを見渡せる場所にコントロールを設置しますので、安全性には配慮されています。コントロールにおいてあるシールを集めてきてください。

受付は本部横で、スタートの合図や計時はありません。各自で自由に回って下さい。出走・帰還確認も特に致しませんので、小さなお子様には保護者の方が付き添って下さい。距離は 1km 弱、2 日間別コースです。ゴールしたらお菓子がもらえます。(¥200 / 地図)

尚、この地図・コースは Park - O の基準で調査・設定されたものです。一般の方にも十分足慣らしとして楽しんでいただけるものです。そこで今回は針式パンチも設置し、このコースを「親の立場を持たない方」に開放します。自己計時で申告していただき、各日ごと最速のランナー（約 3 ~ 4 分）を表彰します。但しお菓子はもらえません。

## WOCファンクラブ 会員募集！！

2005年、アジア初となる世界オリエンテーリング選手権大会（WOC）を、日本の愛知に誘致することに成功いたしました。WOCは、日本におけるオリエンテーリングの社会的アピールにおいて、またオリエンテーリングが真の国際スポーツになる上で、重要な位置付けにある大会です。この大会が真に「成功した」と言えるのは、全国のオリエンティアの皆様を支えていただき、世界から来日する各国選手団に、「日本に来てよかった」と思っていたかどうかではないでしょうか？

そこで、この大会が皆様に支えられる大会となるよう、「WOC ファンクラブ」の会員を募集させていただきますことといたしました。この会費収入はO-Map作製費として活用させていただきます。

「O-Map」は日本のオリエンテーリング技術を世界にアピールできるものであり、全国オリエンティアの皆様のご支援を受け最高のものを提供していきたいと思っております。また会員の皆様へは、WOCに関して各種サービスを行う予定です。

どうか、この大会の意義をご理解いただき、会員になっていただけますよう、ご案内申し上げます。

### 募集要領

**【会員募集期間】** 2001年7月～2005年WOC開催日まで

**【会員種類】** 会員は大きく、「個人」と「団体」とさせていただきます。「団体」は、県協会、クラブ、あるいは有志の集まり等、形態を問いません。

#### **【会費】**

「個人」WOC開催に賛同していただける個人。一定の年会費等は設けません。  
WOC開催日まで会費を積み立て、その額に応じて会員サービスを予定。  
20万円以上：ダイヤモンド会員、10万円以上：ゴールド会員、  
5万円以上：シルバー会員、1万円以上：ブロンズ会員  
3千円以上：ペーパー会員（会報のみ）

サービス内容（案。決定したのから会報でお知らせします）

- ・WOCでの会員のみ入場できる特別席（トレイン、パンケット）へのご招待。
- ・リザルトボードへの個人名掲載。
- ・各種記念イベント（トレイン内記念植樹など）への参加。
- ・各種記念品の配布（WOC地図のジグソーパズル、記念CD-ROMなど）
- ・会報の提供。

「団体」WOC協賛大会等のイベント開催による収益の一部などを会費としていただける団体。

各イベントに対し、以下のサービスを提供予定。（案。正式決定しだい会報でお知らせします）  
Oマガジンへの要項無料差込、WOC専用ホームページへの大会案内掲載、  
販売用WOC記念品提供、リザルトボード、プログラムへの団体マーク等の掲載。  
会報の提供。

（なお、事前に「WOC協賛大会申込書」を提出してください。）

**【会費目標額】** 地図作成費用総額 1833万円 を目標にご協力をお願いしていきます。

#### **【会費納入方法】**

事務局へ「団体名または個人名」「連絡先住所、電話番号」をお知らせいただき、下記口座へ振り込み下さい。主な大会等でも受付窓口を設けます。

東海銀行名古屋市役所出張所 普通1201587 世界選手権特別会計代表者 落合公也  
郵便振替口座 00880-5-8427 世界選手権特別会計

**【お問合せ】** WOC準備委員会 事務局 落合（090-1988-1159 E-mail:BXF00304@nifty.ne.jp）  
東京ブランチ 上田（090-8312-2485 E-mail:ueda@seirin.mm-m.ne.jp）  
クラブカップ7人リレー大会は昨年より協賛大会となり、本大会も勿論協賛大会です。